

平成 30 年 10 月 16 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学
看護学部事務室事務長 田中 雅隆
TEL : 052-853-8036
(名古屋市政記者クラブと同時発表)

モンゴルと東ティモールの大学生が名古屋市立大学に来訪します “「健康的なコミュニティづくり」を共に学ぶ”

名古屋市立大学（学長：郡 健二郎）では、国立モンゴル医科大学及びパーツ大学（東ティモール）と大学間交流協定を結んでいます。

この度、科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」が採択され、各大学の学生を招聘し、公衆衛生や地域医療を学んでもらうこととなりました。

つきましては、下記のとおり招聘した学生達が本学の学長である郡 健二郎への表敬訪問を行いますので、是非ご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

【交流のテーマ】

根拠に基づいた健康的なコミュニティづくり

【交流の趣旨】

このプログラムは、健康のための多様な資源と、保健、医療、介護、福祉に従事する専門家の役割を学ぶことを目的としています。参加者が日本のユニバーサル・ケアへの包括的で多様なアプローチを理解する機会を提供します。将来それぞれの国で、保健医療のために貢献する参加者らが、日本がどのように健康的な社会を達成したかを学びます。

【実施期間】

平成 30 年 10 月 21 日（日）～ 10 月 28 日（日）

【具体的な内容】

名古屋市衛生研究所で疫学統計の実際を、名古屋市保健所では公衆衛生行政について学び、訪問診療や訪問看護などを通して、地域医療を担う専門職の実際の活動を学びます。プログラム全体を通して、日本の誇る根拠に基づく健康的なコミュニティづくりを共に学びます。

【表敬訪問の日時】

日 時：平成 30 年 10 月 22 日（月） 14:00 から 14:30 頃終了予定
場 所：名古屋市立大学 本部棟 2 階 第 1 会議室（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1）
参加者（予定）：国立モンゴル医科大学及びパーツ大学（東ティモール）の学生及び教員
名古屋市立大学 学長 郡 健二郎 はじめ大学関係者

【さくらサイエンスプランとは】

科学技術振興機構が日本国内から募集し、選定するプログラム。アジアを中心とする地域から優秀な青少年を日本に短期に招聘し、未来を担う青少年が科学技術の分野で交流を深めます。日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成を進め、アジア地域と日本の科学技術の発展に貢献することを目的としています。

【参考】

〈 国立モンゴル医科大学 大学概要 〉

- 所在地 モンゴル ウランバートル
- 学部・大学院等 医学部、薬学部、歯学部、公衆衛生学部、看護学部 他

〈 パーツ大学(東ティモール) 大学概要 〉

- 所在地 東ティモール デイリ
- 学部・大学院等 人文社会学部、経済学部、工学部、公衆衛生学部 他

※ご取材の申込

事前に別添取材申込書により、FAXにてお申し込みください。

(なお、できる限り公共交通機関等をご利用くださいますようお願いいたします。)

- (1) 申込締切：平成 30 年 10 月 19 日 (金) 午後 5 時まで
- (2) 申 込 先：名古屋市立大学看護学部事務室 FAX: 052-852-4641
- (3) 問合せ先：同上 TEL:052-853-8036 (担当：黒野)

あて先：公立大学法人名古屋市立大学看護学部事務室 行

FAX:052-852-4641

日付：平成30年10月 日

さくらサイエンスプランによる モンゴルと東ティモールの学生の名古屋市立大学訪問 取材申込書

貴社名 _____

連絡先（※当日連絡がとれるもの） _____

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

取材者 氏名（ふりがな）	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
5.	記者 カメラ その他
備考	

以上